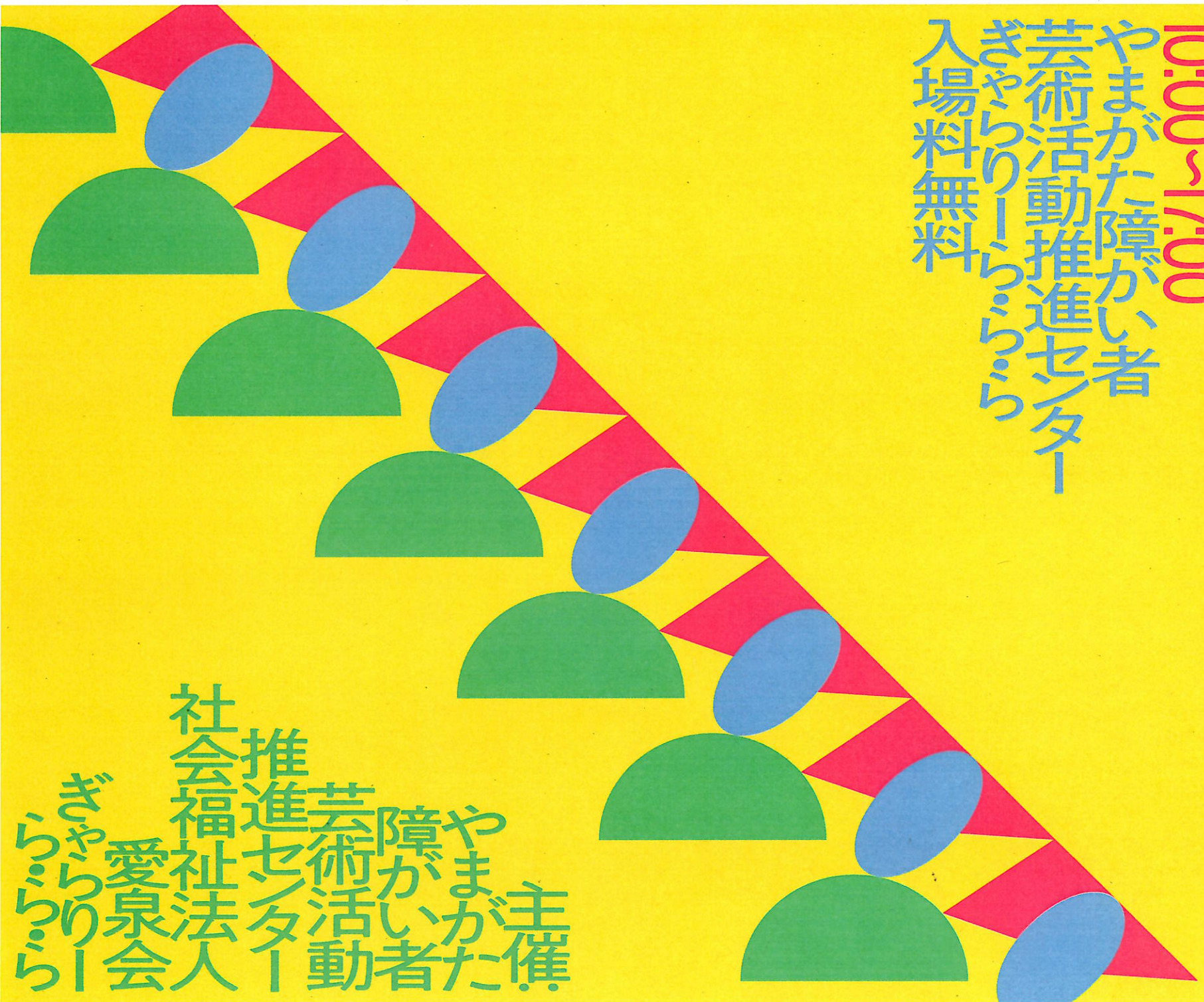


やまがたの
きざしとまなざし
2019.8(木)ー9.27(金)
10:00~17:00
やまがた障がい者
芸術活動推進センター
ぎやらりーらららら
入場料無料

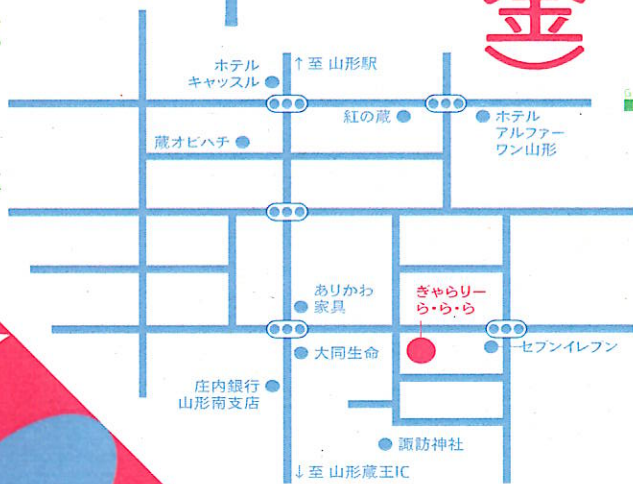
8.13,14,15のみ休廊

主催
やまがた障がい者
芸術活動
推進センター
社会福祉法人
愛泉会
ぎやらりーらららら



やまがたの
きざしとまなざし
2019.8(木)ー9.27(金)
10:00~17:00

やまがた障がい者
芸術活動推進センター
ぎやらりーらららら
入場料無料



8.13,14,15のみ休廊

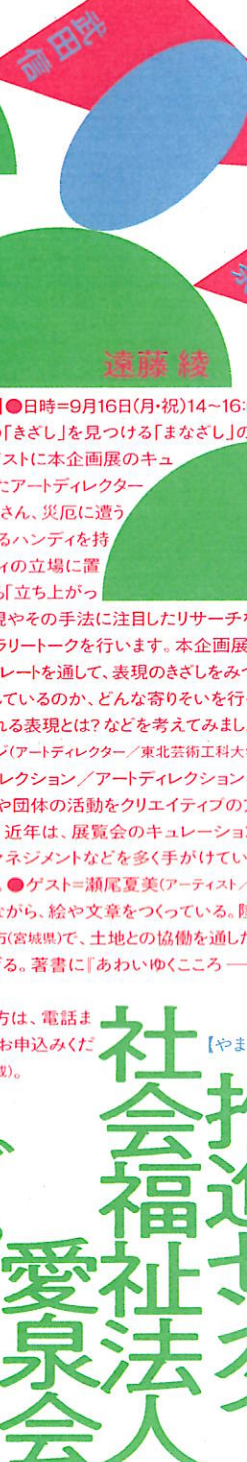
山形県内の作家とその支援者を取材し、障がいのある人たちの表現(「きざし」と、それに寄りそう「まなざし」)に焦点をあてた企画展示をおこないます。作家と支援者の関係性に着目し、寄りそう人の目線から印象的なエピソードをピックアップし、作品と共に支援者の言葉や作家のポートレートなどを展示します。何気ない日々のなかにはワクワクするよな、表現のきざしをみつけるチカラ(「まなざし」)が生まれることを期待します。

【ギャラリートーク】●日時=9月16日(月・祝)14~16:00
●テーマ=表現の「きざし」を見つける「まなざし」のはなし●内容=ゲストに本企画展のキュレーションを行ったアートディレクターのアイハラケンジさん、災厄に遭うことや心身におけるハンディを持つこと、マイノリティの立場に置かれることなどから「立ち上がった」ための表現やその手法に注目したりサーチを行う、アーティストの瀬尾夏美さんを招き、ギャラリートークを行います。本企画展の展示作品や支援者の言葉や作家のポートレートを通して、表現のきざしをみつけるには、どんな関係性を大切にしているのか、どんな寄りそいを行っているのか、まなざしから生まれる表現とは?などを考えてみましょう。●ゲスト=アイハラケンジ(アートディレクター/東北芸術工科大学准教授):クリエイティブディレクション/アートディレクションを専門として、様々な企業や団体の活動をクリエイティブの方面からサポートしている。近年は、展覧会のキュレーションや展示構成・デザイン、アーティストブックの企画・制作・出版、アーティストマネジメントなどを多く手がけている。また、2014年より東北芸術工科大学で後進の育成にも従事している。●ゲスト=瀬尾夏美(アーティスト/一般社団法人NOOK):土地の人びとのことばと風景の記録を考えながら、絵や文章をつづっている。陸前高田市(岩手県)を拠点とした制作を経て、2015年より仙台市(宮城県)で、土地との協働を通じた記録活動を行う、一般社団法人NOOK(のの)を立ち上げる。著書に「あわいゆくところ——陸前高田、震災後を生きる」(晶文社、2019)がある。
※参加ご希望の方は、電話またはメールにて、お申込みください(本紙右下に記載)。

社会福祉法人
愛泉会
障がい者
芸術活動
推進センター
ぎやらりーらららら

【やまがた障がい者芸術活動推進センター ぎやらりーらららについて】社会福祉法人愛泉会では、平成23年に「ぎやらりーららら」を開設、平成28年度からは山形県の事業として、障がいのある人の芸術活動の普及支援に取り組んでいます。その活動を通して、新たな価値創造の発信を続け、互いを尊重し理解しあえる包容力のある地域社会を目指しています。

【主催・企画・協力】
●主催=やまがた障がい者芸術活動推進センター 社会福祉法人愛泉会 ぎやらりーらら ●企画=やまがた障がい者芸術活動推進センター 社会福祉法人愛泉会 ぎやらりーらら、halken LLP
●協力=今野由貴、齋正弘、さくらんぼ共生園、和光園、わたしの会社、吉野敏充 ●キュレーション、展示構成、広報デザイン=halken LLP



齋藤 淳

遠藤 綾

武田 篤

煤賀由香

渡辺 望

和泉 覚士

今野 僚大